

事務事業名		雲南市飯南町事務組合(清掃事業)運営事業		所属部	市民環境部	所属課	環境政策課
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>		所属G	環境グループ	課長名	土屋 和則
	施策名	(10)自然と地域環境の保全		担当者名	村松 優	電話番号	0854-40-1033 (内線) 2125
	目的対象	対 象 市民	意 図 自然環境、景観を守る意識を高め、地球環境に配慮した生活をおくるとともに創造する。	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 2 0 0 2 清掃総務管理事業	中事業 中事業名 1 0 0 5 2 6 雲南市飯南町事務組合負担金(清掃事業)	
	基本事業名	(030)廃棄物(ごみ)の減量と適正処理の推進					
目的対象	対 象 市民	意 図 ごみを減量するとともに適正に処理する。					

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
雲南市飯南町事務組合へごみ収集・処理の負担金を支払う。 ・大東、加茂、木次、三刀屋 可燃物:雲南エネルギーセンター(ごみ固形燃料RDF化) 不燃物:リサイクルプラザ ・吉田、掛合:いいしクリーンセンター(可燃物は出雲エネルギーセンターへ処理委託) 組合議会や会議への出席 なお、ごみの排出量は国が実施する一般廃棄物処理事業実態調査により確定するため、現在H29年度値まで確定。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	30年度実績(30年度に行った主な活動) 負担金の支払い、会議への出席		元年度計画(元年度に計画する主な活動) 前年度に同じ			
	② 活動指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)	
ア	負担金交付回数	回	5	5	5	5	
イ							
ウ							
エ							

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	雲南市民	③ 対象指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
			ア 市民	人	38,506	37,794	37,012	37,496
			イ					
			ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	一般廃棄物の適正処理	④ 成果指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
			ア ごみ総排出量	トン	10,169	10,138	10,042	9,952
			イ					
			ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)	② コストの推移	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)
負担金600, 837千円	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円	15,500	14,200	39,900	249,000
	その他	千円				45,000
	一般財源	千円	626,351	626,402	560,937	471,372
	事業費計(A)	千円	641,851	640,602	600,837	765,372
	人件費	人	3	3	3	
	正規職員従事人数	人	3	3	3	
	延べ業務時間	時間	150	150	150	
	人件費計(B)	千円	595	612	650	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	642,446	641,214	601,487	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
3Rの推進により、ごみの減量化が進んでいたが、近年増加傾向にある。古紙及び古着回収をH26年度より雲南市・飯南町事務組合へ移管した。	分別収集への協力依頼を市民におこなってきた。	組合議会において、ごみの効率的な処理の実施が求められている。

事務事業名	雲南市飯南町事務組合(清掃事業)運営事業	所属部	市民環境部	所属課	環境政策課
-------	----------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	ごみの減量化・分別について、周知を行っているところであり、今後成果向上の余地はない	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	法に基づいており廃止できない
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名)	理由		ごみ処理を効率的に行うため事務組合で行っているところであり、統廃合できない
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		経費節減は常に努力している
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			理由
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		雲南市民を対象としており公平、公正である
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
<p>出雲市への可燃ごみの処理がR3年度末を目途に終了することに伴い、事務組合管内から排出される一般廃棄物を雲南エネルギーセンターで統合処理することになり、設備の老朽化及び処理設備の一部能力不足になることから、R1、2年度で設備改修を行なう。 設備改修を行なうことにより、R13年度まで効率的に適正処理を行なうことが可能となる。</p>																								